

市長と語ろう「大田市役所本庁舎の整備について」概要報告

1. 目的

本庁舎の整備にあたっては、市民に本庁舎の現状などの情報をオープンにしたうえで整備の必要性を説明し、情報を共有しながら取り組むことが重要であり、状況整理を行いながら検討を進めていく必要がある。

については、基本構想策定前に市長が直接市民と意見交換を行うことにより、今後の進め方や整備を検討する際の参考にしていくことを目的として、市長と語る会を開催した。

2. 開催期間・参加者数等

- ・ 令和4年5月～7月 計27回

- ・ 参加総数 401人

※詳細別紙のとおり（4～5ページ）

3. 意見交換会での市民の主な意見と市長の見解（①～⑨：市民の意見 →：市長の見解）

①分散型整備では市民サービスの低下が懸念される。複数の用事が一度で済むよう、一ヶ所に集約してほしい。

→仮に庁舎を分散するとしても、現在の庁舎一階のような市民サービスに直結する部課は本庁舎側に集約し、市民サービスの低下を招かないようにしたい。

例えば現在行っている死亡時の手続きをワンストップサービスで行える仕組みのように、市民サービスの向上を目指したい。

②公共交通機関とのアクセスの向上が見込める駅東側周辺への整備が望ましい。

→現庁舎ではバスの便も少なく、駅東側周辺であれば公共交通機関（JR、バス）や国道とのアクセスが向上する。

仮に駅東側周辺に整備する場合は、市役所機能に加えて賑わいを創出する仕組みや公共交通のハブ機能等を持った整備を検討していきたい。

③市民サービスの向上を図ってほしい。

→現在、電子決裁・証明申請手続き等でデジタル化を推進しており、今後はマイナンバーカードの普及等により更に推進される見込み。スマホやタブレットで申請できるようになり利便性が向上する。

また、デジタル化に対応できない方への補助を充実させたり、まちづくりセンターでのサービス提供も検討したい。

④建物や空間の役割に複数の用途を持たせるなど、効率的で賑わい創出に繋がる工夫を持った庁舎としてほしい。

→市役所機能に加えて、賑わいを創出する仕組みや集客機能を併せ持った整備も検討していきたい。

また、駅通りの電柱地中化や路面のフラット化、下水道整備など、飲食店等が出店しやすいインフラ整備を進め、駅周辺の賑わい創出に繋げたい。

⑤ユニバーサルデザインや総合窓口の設置、目的別窓口色分けなど、利用しやすい庁舎としてほしい。

→高齢者や障がい者等に優しいユニバーサルデザインを取り入れた庁舎とし、かつ市民も職員も使用しやすい機能をもったレイアウトや仕組みを検討していきたい。

⑥「大田らしさが感じられる庁舎」とは、どういうイメージを持っているか。

→例えば、市産木材や石州瓦、福光石など、大田市の地場産材を利用するというのも一案。

そのほか、市民が訪れやすく利用しやすい庁舎となるよう大田市役所ならではの機能とするよう工夫したく、市民の皆さんや民間事業者等から提案を受けたい。

⑦庁舎規模を出来るだけ縮小すべきである。

→人口規模に合わせ将来的に職員数を減員する見込みであり、またデジタル化に伴うペーパーレス化により書庫等も縮小できることから、現在の庁舎規模より大幅に縮小する想定である。

⑧有利な財源が確保出来るのか。

→庁舎整備には基本的に補助制度等はなく一般財源での整備となるが、一般市民への開放施設との複合化など工夫することで、有利な起債や補助制度が活用できる可能性もある。

また、民間活力の導入(賃貸スペース等による収入確保等)など、財政負担の軽減を検討していきたい。

⑨耐震性能がないことは理解するが、今後の人口減少や市の財政状況を踏まえると、現在の庁舎を耐用年数期限の20年後まで使用するほうが良いのではないか。

→本庁舎整備を行う主の目的は、早急な耐震性の確保を行い、市民や職員の安全を確保することと、万が一の被災時における的確な復旧対策の司令塔としての役割、また市民サービスを安定供給するためである。

今後発生しうる様々な変化に対応できる将来的な見通しをもって進めていくもので、全く整備せず使い続けるとの選択肢はないと考えている。

4. その他市民の意見

(1) 整備手法や立地

- ・ 新庁舎整備（建て替え）に賛成である。
- ・ 市民が利用しやすく、集まる立地・庁舎としてほしい。
- ・ 大田の地場産材（石州瓦・木材・福光石等）を利用した庁舎にしてほしい。
- ・ 現在の候補地以外でも土地取得をし、整備する手段を検討しても良いのではないか。

- ・ JR山陰本線の利用促進を視野に入れ、大田市駅と一体となった整備を考えてほしい。
- ・ 駅周辺であれば、警察や消防、あすてらす等が近くにあり、連携できる。
- ・ 自家用車で移動する人がほとんどであり、公共交通機関とのアクセスはあまり関係ない。
- ・ デジタル化が進めば市役所に行く機会も少なくなり、交通の不便さも少しずつ解消する。
- ・ 分散型整備であれば、駅周辺が4千㎡、現庁舎付近が2千㎡の方が良いのでは。

(2) 市役所機能

- ・ 災害時の市役所以外の公共施設との連携やその他対応を考慮した庁舎にしてほしい。
- ・ 市役所機能だけでなく、にぎわいを創出する機能や集客機能を併せ持った整備をしてほしい（市民会館、商業施設、シェアオフィス、カフェ、公園、フリースペース、屋内プール等）。
- ・ 駅東側周辺に整備するのであれば、高校生が勉強等できるフリースペースを作ってはどうか。
- ・ 貧困家庭の学生のための学習支援の場を設けてはどうか。例えば島根大学と連携するなど。

(3) 財政負担の軽減

- ・ 厳しい財政状況の中で、安価で機能的、シンプルな庁舎にしてほしい。
- ・ 庁舎が大田市のシンボルではないため、現在の庁舎のように立派な建物が必要かどうか検討してほしい。
- ・ 「大田らしさ」を強調する余り建設コストを上げる整備は避けてほしい。
- ・ 民間活力の導入の一例として、賃貸オフィス等による収入を確保する仕組みづくりも検討するなど財源を確保する工夫をしてほしい。
- ・ 「あすてらす」を県から譲り受け、これを活用した整備を行い、財源負担を減らしてほしい。
- ・ 限りある財源のため、庁舎整備以外の介護や子育てに庁舎整備の財源を使ってほしい。

(4) その他

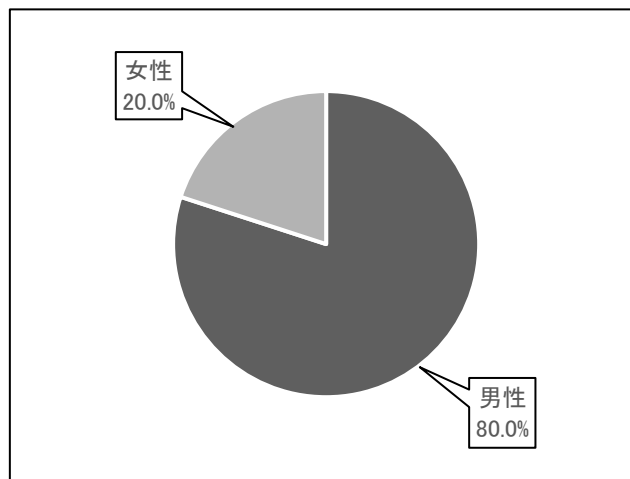
- ・ 教育面（子ども、生涯学習）と利便性の向上が見込める整備をしてほしい。
- ・ 今後の人口減少やデジタル化（電子決裁・証明申請手続き・マイナンバーカードの活用等）による職員数の割合や減少を加味した整備をしてほしい。
- ・ 地下シェルターや情報発信基地（観光・世界遺産等）を整備してほしい。
- ・ 現庁舎における死亡の手続きの仕組み（ワンストップサービス）は、継続して行ってもらいたい。
- ・ 整備手法は決定していないが、工事や維持管理に地元業者が参加できるようにしてほしい。
- ・ 現庁舎の外観は立派であるため整備する必要性がわからなかったが、耐震性能がないことや老朽化、将来的な見通しを考慮すると早急に整備する必要があると思った。
- ・ 整備を検討するにあたり市民も職員も女性の意見を多く取り入れてほしい。
- ・ 仮に現庁舎付近で集中的な整備を行う場合でも、駅周辺には出張窓口機能があると便利だと思う。
- ・ 整備が必要なのはわかるが、全体的なスケジュールが急なように感じるのでもう少し時間をかけて進めてほしい。
- ・ 本庁舎整備も重要ではあるが、市が保有する遊休資産の売買も含め総合的に考えるべきである。
- ・ 庁舎とは別に大田市観光情報センターという市民に情報を発信・収集するところを市の中心に作った方がよい。

(別紙)

市長と語ろう「大田市役所本庁舎の整備について」資料

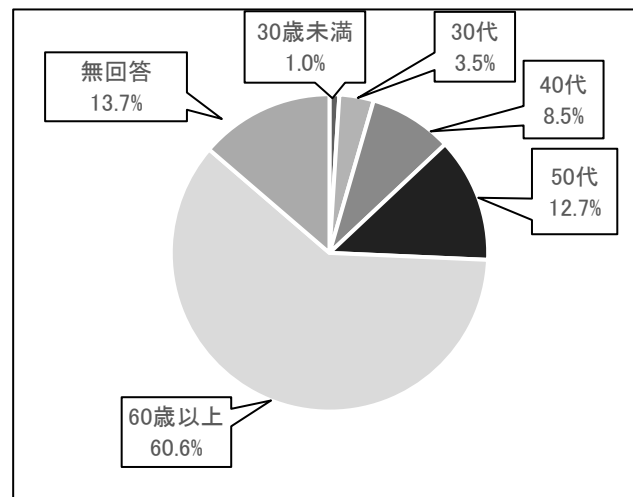
1. 開催会場・参加者（各まちづくりセンター）

月日	会場	参加者	男性	女性
5/9	大田	19人	14人	5人
5/12	川合	13人	11人	2人
5/13	大屋	30人	20人	10人
5/20	朝山	5人	4人	1人
5/24	富山	8人	5人	3人
5/26	波根	5人	5人	0人
5/27	鳥井	16人	15人	1人
6/3	長久	26人	23人	3人
6/14	久手	18人	16人	2人
6/15	久利	18人	14人	4人
6/16	五十猛	18人	14人	4人
6/17	静間	20人	19人	1人
6/20	池田	16人	13人	3人
6/22	志学	20人	17人	3人
6/23	北三瓶	25人	19人	6人
6/24	大森	17人	14人	3人
6/27	水上	14人	9人	5人
6/28	大代	14人	13人	1人
6/29	祖式	14人	10人	4人
6/30	福波	17人	15人	2人
7/1	温泉津	7人	5人	2人
7/4	湯里	19人	14人	5人
7/5	井田	8人	6人	2人
7/7	仁万	10人	6人	4人
7/8	宅野	8人	8人	0人
7/11	大国	8人	5人	3人
7/14	馬路	8人	7人	1人
合計		401人	321人	80人
割合		100.0%	80.0%	20.0%



2. 参加者年代

年代	人数	割合
30歳未満	4人	1.0%
30代	14人	3.5%
40代	34人	8.5%
50代	51人	12.7%
60歳以上	243人	60.6%
無回答	55人	13.7%
合計	401人	100.0%

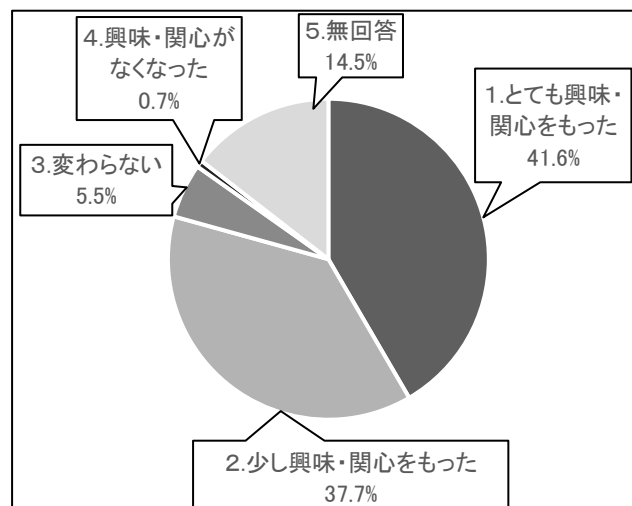


3. アンケート内容

Q 1

本日の意見交換に参加して、市役所本庁舎の整備について、参加前と比べどれだけ興味を持ちましたか。

項目	人数	割合
1. とても興味・関心をもった	167人	41.6%
2. 少し興味・関心をもった	151人	37.7%
3. 変わらない	22人	5.5%
4. 興味・関心がなくなった	3人	0.7%
5. 無回答	58人	14.5%
合計	401人	100.0%



Q 2

今後意見交換会を実施する場合、参加したいですか。

本庁舎整備以外のテーマであれば参加したいですか。

項目	人数	割合
1. 参加したい	186人	46.4%
2. 参加したくない	8人	2.0%
3. わからない	53人	13.2%
4. 内容による	94人	23.4%
5. 無回答	60人	15.0%
合計	401人	100.0%

